

〔 所感 〕

長崎市議会議員 宮崎 高舟

8月23日に中国の福州市に視察に行きました。  
初日は移動日で夜は福州市の市長達、自から歓迎をして頂き、田上市長始め、色々なお話をお聞きすることができました。  
二日目から視察で、午前中は植樹祭に参加し、午後から四つのコースに分かれての視察をしました。  
視察内容は私は、教育コースを選択しており、今年の海フェスタの一つのイベントである全国ペーロン大会で、日中友好30周年記念で来崎し、ペーロン大会にも参加をしました洪さんからお話を聞き、施設の中を見学させて頂きました。  
内容的にはスポーツの専門の施設とゆうよりは学校で、専門的に、なおかつ徹底した教育を感じました。  
特にバスケットの女子チームは全中国一ということで一緒に交流をし有意義な時間を過ごしました。  
ここを視察して感じたことは、当市も平成26年に国体が控えておりますので、市としてもこの施設までいかないにしても、もう少しスポーツに力を入れてもいいのではないかと、また現在ある、施設にももう少し手を入れてもいいのではないかと感じました、選手の育成にも力を入れるべきではないかと感じました。



その晩は、観光プロモーションがあり福州市長から田上市長へ荣誉市民賞が送られ中国の方達とも十分な交流が出来ました。

翌日は、午前中は三坊七巷を見学し、福州市の歴史また、建物の芸術性など勉強し、午後から上海に移動をしました。

次の日は、上海万博を見学し日本館で、田上市長の挨拶の後、孫文と梅屋 庄吉の映像を見て、この長崎市にすばらしく誇りに思える方がいたことを知ることができました。

内容的には、孫文は改革を実働し、梅屋 庄吉はその革命にかかる費用を援助する、この二人の連携、つながりの深さ、そして孫文が亡き後、梅屋 庄吉は、中国の各地域に孫文の立像を建設すし、自分の亡き後はこの事実、歴史を表に

出すことはなく、これまで隠され続けたこの歴史にすごくロマンを感じ、また、二人の絆の深さ、友情にすごく感動を覚えました。  
その後も万博を視察し色々な国の館を見学させて頂きました。



この度の視察では得るものが沢山あり、長崎市における町作り、また国体へ向けた取り組みなど、違った視点から見ることができ、今後長崎市に活用できそうな事を十分に勉強させて頂きました。